

平成22年第9回教育委員会定例会

【日 時】平成22年8月23日(月)午後1時30分～午後4時00分

【場 所】北栄町立北条小学校 特別活動室

【出席者】吉田助三郎委員長・河本恒夫委員長職務代理者・斎尾暁美委員・岩垣教育長・杉川教育総務課長・阪本指導主事・桑本指導主事・大庭教育総務課係長

【議事日程】

1 会議録署名委員の指名 河本委員、斎尾委員を指名

2 行政報告

教育長

- ・ALT来町歓迎及び辞令交付について
- ・中学校教諭の保育士体験研修について
教諭、保育所に研修の趣旨が浸透していない。
- ・中国五県教育長研究大会について
神話があるところには文化があり、出雲市は神話が多く古くから文化があった。
教育委員会の開催時に傍聴者が受け入れられていない。積極的に公開を進めていくべきである。政権交代があり、教員の定数増の改正が検討されている。標準の子どもの数も40人から30人程度の数での変更も検討されている。
- ・学校における事項(特定の生徒保護者の現状報告)について
- ・幼保一元化施設の経過報告について
議会付帯決議があったが、北条地区の統合、大谷、栄地区に保育機能を残すことで議会の了承を得て、施設建設計画を進めている。

教育総務課長

資料のとおり説明。

(質問)キュービクルとは何か。

(回答)高圧電力変換機のこと。電力会社が供給している高圧電力を通常の電力に変換し各施設へ供給する機械。

(質問)給食センターの臨時職員補佐員は平成23年3月31日までか、それとも引き続き継続するものか。

(回答)平成22年9月1日付けで2名の給食センター長が1名となり、その補佐員として臨時職員1名を採用するもの。継続して配置する。

生涯学習課長

資料のとおり説明。

(質問)郡体は全種目出場しているのか。

(回答)一覧表の「0点」は不参加扱いとなるが、出場しているが人数不足などによりオープン参加となっている種目もある。このことについて、石丸議員からソフトテニスはユニフォームを購入しているが、郡体では「0点」であるが活動しているのかとの趣旨の質問があり、同様の回答を行った。

(意見)郡体の得点を獲得するためにユニフォームを購入したものではない。生涯学習の中の活動のために購入している。

- (意見) 郡体は町民の代表が競技を発表する舞台であると考えている。
- (意見) スポーツクラブが取りまとめる関係で、クラブには競技種目がないために参加できないこともある。町民に説明が浸透していないようだ。
- (回答) スポーツクラブ設立の際には説明しているが、いまひとつ浸透していない。
- (意見) 地区ごとに温度差があるようだ。大栄地区ではなじみがないため浸透していない。すべてが北条地区になってしまったという感がある。
- (説明) 小地域懇談会について、昨年とほぼ変わらないが、各地域でテーマを決めてもらうこととしている。テーマは、疑似体験、ミニ講演、交流研修会などで、ビデオは、同和問題、人権問題の2本を用意している。なるべく多くの人に参加してもらう方策を検討し、地区推進員に具体例を提示しながらお願いしている。
- (質問) テーマはどの分野が多いのか。
- (回答) 人権問題ビデオが多い。同和問題はなくなったという話もあるが、実態はまだなくなっていない。その議論もあるようだ。
- (意見) なくなったという流れからそのほうがいいと捉える場合があるが、決してそんなことはない。人権問題として大きく捉えられている面もある。
- (意見) 部落役員となってもそのときだけ。そこをどう広げていくかが大切となる。
- (意見) 部落推進員が早く代わりすぎていて指導力がつかないのではないかと。任期を3年や5年と考えてもいいのではないかと。
- (意見) 任期が終わったとき、次の役員とすり合わせる場面があってもいいのではないかと。
- (回答) 話し合う場を設けて意見交換してもいい。
- (質問) イカダレースは来年もあるのか。
- (回答) 町長は終わりのあいさつで、来年もやることを言った。行革で廃止と提案したが所期の目的を達成されていないため続けるべきではないかとの意見があったようだ。

3 議事

議案第33号 北栄町学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

原案のとおり承認。

議案第34号 平成23年度に使用する小学校教科用図書の採択について

採択協議会調査委員の報告に基づき、各委員に教科書サンプルと照合しながら説明を行う。今後、3年周期で見直し。次回は平成25年度。中学校教科書は来年度見直しとなる。

原案のとおり承認。

議案第35号 校区外就学について

(質問) この方は数年前から申請している。本当に住居を探しているのか。

(回答) 金銭的な面から民間の住宅は借りられず、町営住宅を応募し努力しているようだ。しかし、結果として抽選漏れとなっている。

(意見) 今後も努力をしてもらう。また、その学期ごとに申請を提出してもらい審査する。

原案のとおり承認。

4 報告

・生徒派遣に係る補助制度について

(意見) 補助しないわけではないが、一定の線引きが必要で7,000円と定めている。

(意見) 他の市町村では全額実費を補助しているところがあり、比較して意見が出ている。

(回答) 保護者の負担軽減と子どもたちの成果に出費するのは別の問題と考える。

(意見) 全額もらっていくからがんばるという考え方はどうかと思う。

(意見) 子どもたちに先生がどう説明するか心配。

(結論) とりあえず当面は今までどおり実施していく。

5 その他

- ・北条・大栄中学校運動会及び町内小・中学校、幼稚園の2学期主な行事予定について
- ・北条中学校通学路変更への回答について
- ・平成22年度市町村教育委員会教育委員全体研修会について
- ・次回定例教育委員会は、9月28日(火)の予定とする。